

医療・介護・消防連携事業報告
(第2回意見交換会・第1回小委員会)

目次

- 1 医療・介護・消防連携事業の概要

- 2 第2回医療・介護・消防連携事業意見交換会 まとめ
 - ・概要
 - ・消防の講義内容
 - ・グループワーク内容

- 3 第1回医療・介護・消防連携事業小委員会概要

1 医療・介護・消防連携事業の概要

●目的

緊急時にも在宅療養患者（利用者）の意思を尊重した対応ができるための連携促進

●実施内容

令和3年度：医療介護関係者および消防署職員へアンケート実施

令和4年度：医療・介護・消防連携事業意見交換会を実施

(R4.10.5、R5.2.21)

↓

令和5年度：医療・介護・消防連携事業小委員会開催

(第1回 R5.5.29実施、第2回 R5.8.1開催予定)

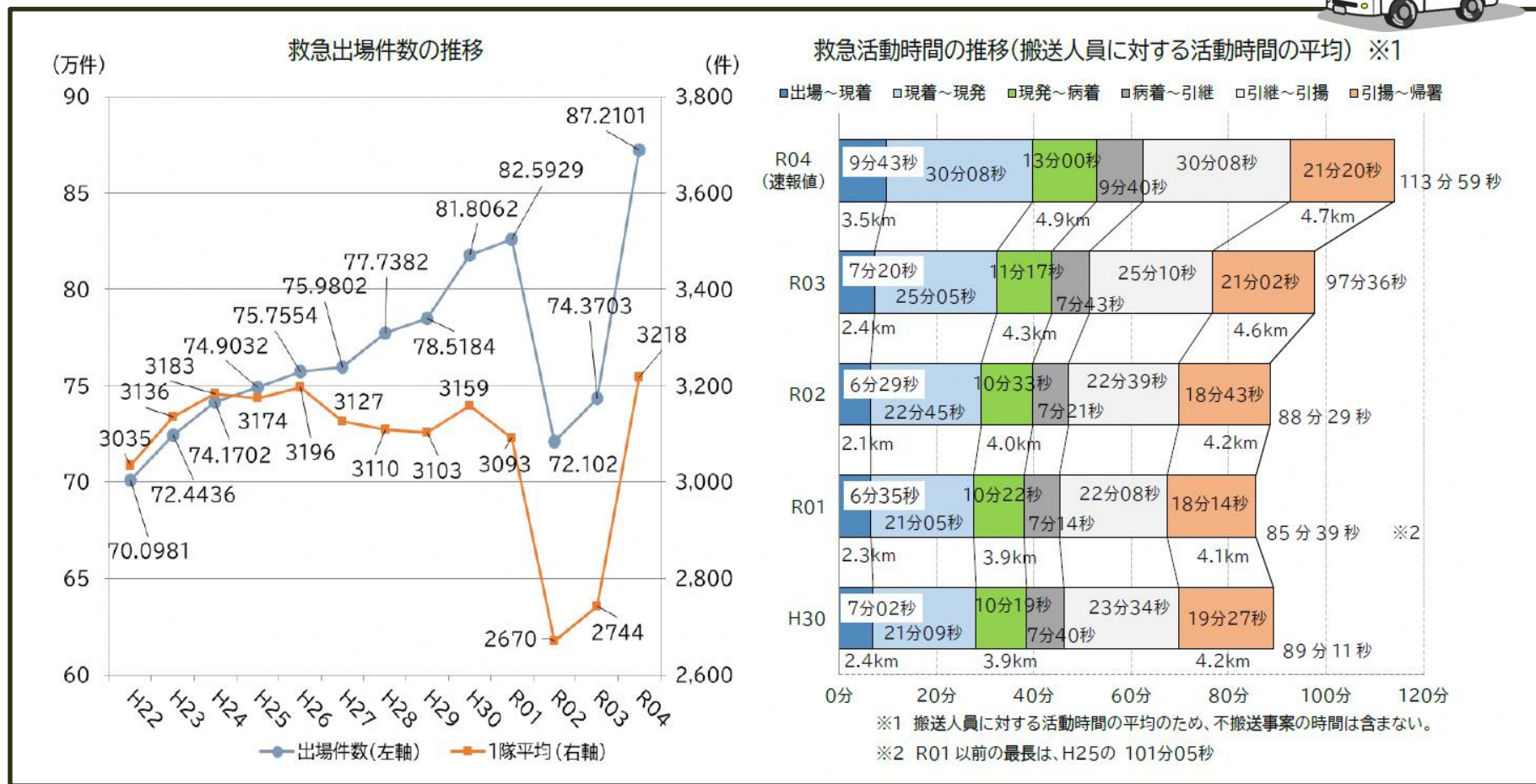
2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

- 日 時：令和5年2月21日（火）19時00分～21時00分
- 場 所：練馬区役所本庁舎地下2階多目的会議室
- テーマ：「救急要請に必要な情報を準備する～
実際の区民を想定して、もし〇〇〇だったらどう動くかを考えよう」
- 参加者：18名（医療介護関係者：12名、消防署職員：3名、そのほか：3名）
- 内 容：① 第1回意見交換会まとめ報告
② 講義：救急要請に関する啓発 練馬消防署
③ グループディスカッション、発表

2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

●講義 練馬消防署より「救急要請に関する啓発」抜粋

救急出場件数及び救急活動時間の推移



2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

●講義 練馬消防署より「救急要請に関する啓発」抜粋

救急需要対策



【要請後】

- ・救急隊数の増強（デイトタイム救急隊）
- ・救急運用の工夫（医療機関での隊員の交替）
- ・救急告示医療機関への受入れ依頼等
（診療情報伝需率、3分ルール 転院搬送）
- ・現場トリアージ
- ・地域救急搬送整備事業（救急医療の東京ルール）

など

【要請前】

- ・頻回要請者対応
- ・高齢者施設への啓発
- ・都民への啓発（救急車の適正利用、
#7119、救急受信ガイド）



2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

- 講義 練馬消防署より「救急要請に関する啓発」抜粋



トピックス：LIVE119

東京消防庁が令和2年9月から実施

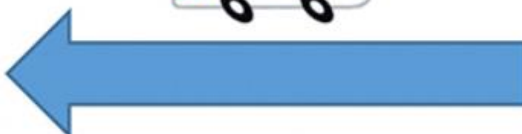
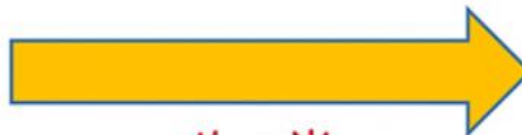


映像撮影



応急手当動画

通報・映像送信



出場指令・映像を見ながら口頭指導
(必要に応じて応急手当の動画を送信)



2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

●グループワーク内容

【事前】

- ・第1回意見交換会の意見をふまえて、情報シート案を作成し、参加者に送付
- ・自分が作成するなら何が記入できるかを検討、返信

【当日】

- ・情報シート案について意見交換
- ・ケースと場面を設定し、意見交換
 - ・患者と作成する人を設定
例) 独り暮らし高齢者／訪問看護師
- ・【4つの場面】に分けて意見交換
 - ①シートを作成する
 - ②共有する
 - ③活用する
 - ④継続する

救急要請時必要情報シート（案）

記入日 年 月
記入者氏名

氏名	ふりがな
生年月日	年 月 日
住所	
電話番号	
緊急連絡先 1	ご本人との関係： 電話番号：
緊急連絡先 2	ご本人との関係： 電話番号：
ADL	自立 / 要支援 1・2 / 要介護 1・2・3・4・5 備考：
既往歴	
現病歴	
内股薬	医療機器： あり ・ なし / ありの場合→ お薬手帳： あり ・ なし
かかりつけ医	医療機関名：

関係者 (郵便・ケアマネ・消防団・リハ ・歯科医・その他)	事業所名： 担当者名： 電話番号：
関係者 (郵便・ケアマネ・消防団・リハ ・歯科医・その他)	事業所名： 担当者名： 電話番号：

家屋の状況	一軒家 ・ 集合住宅（ 階） EV： あり ・ なし 階段： ストレッチャーが入る ・ 入らない 鍵保管について：
-------	--

心肺停止時の延命措置	心臓マッサージ： 希望する ・ 希望しない 人工呼吸器装着： 希望する ・ 希望しない 救命センターへの搬送： 希望する ・ 希望しない
看取りの希望	家での看取り： 希望する ・ 希望しない

2 第2回医療・介護・消防連進事業意見交換会 まとめ

●グループワーク 意見交換内容

	主な内容
1 項目に関する意見	<ul style="list-style-type: none">■ 救急要請時、救急搬送時に必要な情報の分類■ 本当に必要な情報の選別■ 延命や看取りに関する記入の難しさ
2 運用に関する意見	<ul style="list-style-type: none">■ 記入者、記入日■ 作成の仕方（作成における注意点やポイントが必要、添付でよい情報は？）■ 保管について（最適な保管場所は？救急隊が探せる場所とは？）■ 救急隊への情報提供の仕方（媒体の内容を提供？媒体そのものを提供？）■ 更新の考え方（誰がいつ更新すると決めるのは難しい、更新に関する考え方を提示してはどうか？）
3 その他	<ul style="list-style-type: none">■ 本シートの目的や事前準備の必要性の認識■ さらなるACPへの取組、周知の必要性■ 医療介護と消防の現場の相互理解



- 1 必要な情報の精査（消防へのヒアリング）
- 2 情報の事前準備に関する目安となる基準の提示、合わせて救急搬送に関する正しい情報提供
- 3 情報提供媒体の検討、運用の検討
- 4 ACPへの取組の検討
- 5 医療介護と消防の現場の相互理解の機会の検討

3 第1回医療・介護・消防連進事業小委員会概要

- 日 時：令和5年5月29日（火）19時00分～21時00分
- 内 容：消防署へのヒアリングと委員への事前アンケートの共有
情報シート（案）、周知に関する意見交換
- 情報シート（案）について：
消防署へのヒアリングや委員アンケート結果をもとに、事務局が作成
【シート概要】
 - ・本人が記入するタイプ、A3カラー両面4つ折り
 - ・119へかける際の流れ・注意事項のまとめ
 - ・救急隊へ提供する情報記入欄（氏名、住所等の情報、医療情報、緊急連絡先）
 - ・そのほか、救急要請に関する説明内容↓
医療情報・もしもの時に医師に伝えたいことの内容や、書き方など意見多数、
配布対象者の検討 など
- 今後について：今年度中にシート案を完成／ACP事業の具体的検討

参考資料

第1回医療・介護・消防連携事業小委員会 資料抜粋

サイズなどイメージ

- ・ A3両面
- ・ カラー
- ・ 4つ折り

表面

- ・ シートの説明
- ・ かかりつけ医のこと
(関係者連絡先)
- ・ # 7 1 1 9
- ・ ACPのはなし
※簡単な紹介レベル
- ・ 総務省のチラシの紹介
QR付き

など

いつもと様子が違う？
どうしたらいいか迷ったときは？ **まずは、かかりつけ医に連絡を！**

いつもと違って、すごく痛かったり、苦しかったり、様子を見ていいかどうかどうしたらいいかわからないとき、
まずは、かかりつけ医に連絡・相談をしてみましょう。家族の方も在宅サービスに入っている方も、ご本人の
様子で気になることがあったときは、まずは連絡・相談を。
かかりつけ医に連絡をする際は、いつから・どんな様子がお伝えして判断を仰ぎましょう。

かかりつけ医が連絡が取れないときは、お願いしている訪問看護ステーションに連絡・相談をするなどしてみ
ましょう。

急変時に、どこに連絡・相談をするか事前に確認しておくことが大事です。

かかりつけ医の連絡先	医療機関名	☎
訪問看護の連絡先	事業所名	☎
の連絡先	事業所名	☎
の連絡先	事業所名	☎

7 1 1 9 について

ACPについて



- 「119 あんしんシート」とは
救急搬送の際に、聞かれる情報を事前に記入しておくシートです。
ここに書く内容は、**受入れ先の病院が知りたい必要な情報**です。救急隊が速やかに適切な医療機
関に搬送するために、ご協力をお願いいたします。
- 「119 あんしんシート」の書き方
書き換えられるように鉛筆で記入し、必ず記入した日付も書きましょう。
変更があったときは、修正をしましょう。日付も合わせて変更してください。
年に1回など定期的に見直しをし、本シートを置いていることを周りの人に共有しておきましょう。
- 「119 あんしんシート」の置き場所
置き場所は、とても大事。**冷蔵庫に張り付けるか、お薬手帳に挟むように**しましょう。
このシートがおうちの中にあると分かるように、**一緒に配布している専用マグネットを見える
ところに**貼りましょう。
※救急隊の方は、意識がないなど緊急度が高い場合は、許可がなくても警察官立ち合いのもとでバッグや
財布の中の身分証明書を確認することがあります。

119 あんしんシートについて：練馬区地域医療連携推進担当係 ☎03-5984-4673
令和5年〇月作成

中面左側

必要な情報と、書くときの注意事項

本人が書くことを前提とし、分かりやすい言葉で記載

○やチェックを付けるなど、簡単に書けるように設定

もしものための 119あんしんシート

もしものときのために、記入をしておきましょう。毎年、お誕生日などに見直ししましょう。書き換えられるように鉛筆で書きましょう！

【あなたの基本情報】			記入日	年	月	日
ふりがな		性別				
氏名		男・女				
生年月日	M・T・S・H・R	年		月		日
住所		電話番号				

【医療情報】			記入日	年	月	日
いまかかっている病気はありますか？	ない・ある	高血圧・糖尿病・心臓病・脳卒中 その他()				
過去に医師から言われた病気はありますか？	ない・ある					
入院したことはありますか？	ない・ある	病院名： 入院していた年：				
アレルギーはありますか？	ない・ある	薬・食べ物・その他()				
飲んでいる薬はありますか？	ない・ある	お薬手帳や薬剤情報提供書と一緒に保管しておきましょう。				
かかりつけ医はどこですか？	ない・ある	診療所・病院名： 医師名：				
保険証は持っていますか？	ない・ある	保険証の写しと一緒に保管しておきましょう。				
移動するときに介助は必要ですか？		どこでもひとりで歩ける・家の中はひとりで歩ける杖が必要・歩行器が必要・車いすが必要・介助が必要				

【もしものときに医師に伝えたいこと】		記入日	年	月	日
<input type="checkbox"/> できるだけ救命してほしい	<input type="checkbox"/> なるべく自然な状態で帰ってほしい				
<input type="checkbox"/> 苦痛を和らげる処置なら希望する					
<input type="checkbox"/> その他 ()					

【緊急連絡先】※家族などあなたのことをよく知っている人					記入日	年	月	日
順	氏名	関係	電話番号	居住地				
1				区内・区外()				
2				区内・区外()				

★緊急連絡先とした人には、必ずこのことを伝えてください
上記の内容を、私_____は、救急要請時・搬送時に提供することに同意します。

代筆者名

記入した日、修正した日を書きましょう。

定期的に通院したり、お薬を飲んでいる病気を書きましょう。

医療情報は、救急受入れの病院が、知りたい情報です。速やかに適切な医療機関に搬送されるためにも、分かることは書いておきましょう。

病院を選定する際に、とても大切な情報になります。ここに書く希望は、家族や大切な人にも共有しておきましょう。

もしものときに、救急隊や病院の方が連絡をします。ふだんのあなたのことを知っている方を書きましょう。

中面

中面右側

救急を呼ぶときの流れと注意事項

もし、救急車を呼ぶことになったら・・・ 救急隊到着までの7つのポイント

- 119に電話をする前に、「**現在地の正しい住所**」を確認しましょう！
↓ 番地、マンション名や部屋番号など、確認しましょう。
- 心を落ち着けて、「119」に電話をしましょう。
- 火事が救急が聞かれます。「**救急**」であることを伝えましょう。
- 住所が聞かれます。先ほど確認した現在地の住所を伝えましょう。
- 救急に連絡をした理由を聞かれます。**誰が・どんな状態か**伝えましょう。
↓ 特に**意識・呼吸・出血・痛み・苦しさ**に問題がある場合ははっきり伝えましょう。
↓ 例) 80歳女性が頭の痛みを訴えて急に動けなくなった。意識ははっきりしていない。
↓ 意識がない、呼吸がないなど分かったときは、消防の方が電話で、対応の仕方を教えてくれます。
↓ 分からないことは聞きながら対応しましょう。
- 救急隊が到着するまでの間に**折り返しの電話**があり、以下内容を聞かれます。
↓ このシートを用意しておき、分かることを答えていきましょう。
↓ 救急隊に聞かれる主なこと
① 現在の状態(最初に電話した時と変わりがあれば伝えましょう)
② 今かかっている病気、かかりつけ病院など医療情報
③ 発熱、コロナを疑う症状、コロナのワクチン接種歴
- 救急隊が来るのを待ちましょう！
↓ 「**鍵**」は**大事**！
↓ 病院へ搬送する際、家を開ける場合は戸締りをしますので、鍵が必要になります。
↓ 鍵が見つからないと、救急隊の方が大変困ります。
↓ 速やかな搬送のためにも鍵の準備を！